

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校特別支援学級整備事業			会計	款	項	目	大	小	
政 策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課					
施 策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実			主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員	意図	特別支援学級の施設及び設備の整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の開設に伴う施設整備 特別支援学級へのエアコン設置 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級のエアコン設置は完了し、平成27年度に小学校エアコン整備事業を実施することから、特別支援学級については給排水衛生設備が主な整備になる。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		特別支援学級の整備	0	3	1	校	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・特別支援学級は翌年度開設のため、学校からの整備要望に対して本年度は給排水衛生設備を改修した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			8,164,894	1,041,093			
事業費（b）（円）			7,874,454	972,000			
うち一般財源			7,874,454	972,000			
職員給与費(c)(円)			290,440	69,093			
人役・職員(人)			0.04	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.01				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	特別支援学級として機能することが出来る改修する	取り組みの課題	特別支援学級の対象学校及び児童数は前年まで確定せず、年次計画がたてられない。
今年度(H26)に実施した取り組み	江戸川台小学校特別支援教室に改修を行った	今後の改善計画	特になし